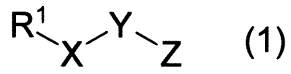
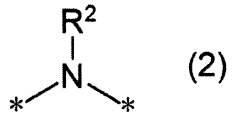
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和7年3月12日(2025.3.12)

【国際公開番号】WO2024/210066
【出願番号】特願2024-562347(P2024-562347)
【国際特許分類】
C08L 29/04(2006.01)
C08K 5/17(2006.01)
【FI】
C08L 29/04 A
C08K 5/17

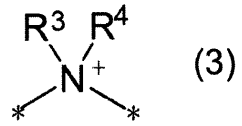
【手続補正書】
【提出日】令和6年10月22日(2024.10.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
けん化度が３０モル％以上８０モル％以下であり、かつ重合度が１００以上７００以下であるビニルアルコール系重合体（Ａ）、化合物（Ｂ）及びアルコール（Ｃ）を含み、化合物（Ｂ）が下記式（１）で表される化合物である、溶液。
【化１】



（式（１）中、Ｘは、酸素原子、下記式（２）で表される基、又は下記式（３）で表される基である。Ｙは、炭素数１～１０の基である。Ｚは、カルボキシ基、スルホ基、リン酸基、それらの塩及びそれらの陰イオンからなる群より選択される１種である。R^1は、アシル基又は炭化水素基である。）
【化２】

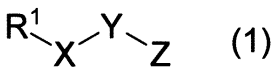


【化３】

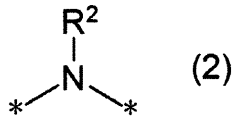


（式（２）及び式（３）中、R^2、R^3及びR^4は、それぞれ独立して、水素原子、炭素数１～３のアルキル基又はＹと結合する結合手である。＊は、結合手である。）
【請求項２】
ビニルアルコール系重合体（Ａ）におけるビニルエステル単位のブロックキャラクターが０．４以上０．６以下である、請求項１に記載の溶液。

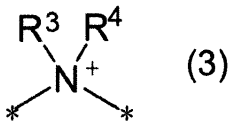
【請求項３】
ビニルアルコール系重合体（Ａ）の含有量が１５質量％以上である、請求項１又は２に記載の溶液。
【請求項４】
化合物（Ｂ）の含有量が０．５質量％以上１０質量％以下である、請求項１又は２に記載の溶液。
【請求項５】
アルコール（Ｃ）の含有量が５質量％以上８０質量％以下である、請求項１又は２に記載の溶液。
【請求項６】
アルコール（Ｃ）の含有量が２０質量％未満である、請求項１又は２に記載の溶液。
【請求項７】
化合物（Ｂ）の含有量が０．５質量％以上４質量％以下であり、かつアルコール（Ｃ）の含有量が５質量％以上１５質量％以下である、請求項１又は２に記載の溶液。
【請求項８】
けん化度が３０モル％以上８０モル％以下であり、かつ重合度が１００以上７００以下であるビニルアルコール系重合体（Ａ）、及び化合物（Ｂ）を含み、化合物（Ｂ）が下記式（１）で表される化合物である、分散剤。
【化４】



（式（１）中、Ｘは、酸素原子、下記式（２）で表される基、又は下記式（３）で表される基である。Ｙは、炭素数１～１０の基である。Ｚは、カルボキシ基、スルホ基、リン酸基、それらの塩及びそれらの陰イオンからなる群より選択される１種である。Ｒ^{1}は、アシル基又は炭化水素基である。）
【化５】

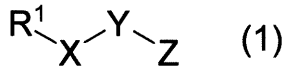


【化６】



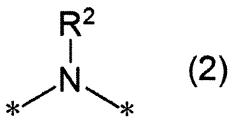
（式（２）及び式（３）中、Ｒ^{2}、Ｒ^{3}及びＲ^{4}は、それぞれ独立して、水素原子、炭素数１～３のアルキル基又はＹと結合する結合手である。＊は、結合手である。）
【請求項９】
請求項８に記載の分散剤の存在下でビニル化合物を重合する工程を備える、ビニル化合物重合体の製造方法。
【請求項１０】
下記式（１）で示される化合物（Ｂ）及びアルコール（Ｃ）を含む液体に対し、けん化度が３０モル％以上８０モル％以下であり、かつ重合度が１００以上７００以下であるビニルアルコール系重合体（Ａ）を複数回に分けて添加する工程を備える、溶液の製造方法。

【化７】

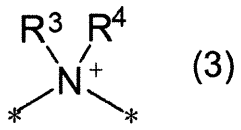


（式（１）中、Ｘは、酸素原子、下記式（２）で表される基、又は下記式（３）で表される基である。Ｙは、炭素数１～１０の基である。Ｚは、カルボキシ基、スルホ基、リン酸基、それらの塩及びそれらの陰イオンからなる群より選択される１種である。Ｒ^{1}は、アシル基又は炭化水素基である。）

【化８】



【化９】



（式（２）及び式（３）中、Ｒ^{2}、Ｒ^{3}及びＲ^{4}は、それぞれ独立して、水素原子、炭素数１～３のアルキル基又はＹと結合する結合手である。＊は、結合手である。）